



2025年3月6日
P.UNITED 広報事務局

パラスポーツ9競技団体の集合組織/P.UNITED
「P.UNITED SESSION 2025」
アスリートや有識者によるトークイベントを実施しました

謹啓、貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日3月6日(木)、パラスポーツ9競技団体が合同で活動をしているプロジェクト「P.UNITED」は、東京丸の内オアゾにてアスリート、その他著名人が登壇するイベント「P.UNITED SESSION 2025」を開催しました。イベントは第一部と第二部に分かれており、それぞれメディアの方々だけでなく、一般の方も多数ご観覧いただきました。

第一部はまず、『オリンピック競技・パラリンピック競技が協働することによって見える世界と「P.UNITED」の課題』というテーマが話し合われました。スポーツジャーナリストの二宮清純さんは「健常者の競技と障がい者の競技が協働で活動をするという世界でも珍しい試み」なので、三位一体ならぬ“九位一体”で頑張りたいとエールを送りました。また馬術の戸本一真選手は「オリンピック大会の前にパラリンピック大会を行うなど、パラリンピックにより多くの人々が注目するような日程を考えたら良いのではないかと自身のアイデアを提案しました。現状オリパラ協働での活動はまだまだ足りていないため、スポーツの面で率先して活動していくことによって、共生社会に向けて一歩ずつ近づいていけると考えています。

第一部の後半では、冬の競技である車いすカーリングのミックスタブルス（小川亜希/中島洋治ペア）が来年ミラノで行われるパラリンピック出場に向けて世界選手権へと出発するにあたり、カーリング元日本代表の市川美余さんやパラフェンシングの加納慎太郎選手らがエールを送りました。ミックスタブルスが日本代表としてバンクーバー大会以来の出場となるか、P.UNITED としても見守りたいと思います。

第二部では、P.UNITED のアンバサダーである栗栖良依さんや俳優・コメンテーターのサヘル・ローズさんをお迎えし、それぞれの立場で推進している、社会をより良いものにしていくための活動をご紹介いただきました。それぞれ活動をされていく中で「自分の弱点は最大の強さ」なので、「過去のトラウマを原動力として今やれることを全力でやっていく」という精神で、より良い社会に向けて声をあげていくことが大切だと語りました。P.UNITED では今後も、スポーツ以外の新しい視点も取り入れつつ、新たな取り組みを行って参ります。

P.UNITED とは、競技認知の向上・競技人口の増加・アスリートの練習環境・財政面など、パラスポーツ競技団体がつもつ共通の課題に対して、また「健常者と障がい者がごく当たり前共に過ごせる社会作りをしたい」という共通の目的に対して、競技団体としての基盤強化が必要だという切実な思いから立ち上がったプロジェクトです。2023年6月に設立されて以来、パラリンピック9競技団体が結集し、集まることによるメリットを活かしてマーケティング活動や広報活動をしており、本イベントに限らず、今後も新しい挑戦をしてまいります。

謹白

■ イベント概要 :

<日程> 2025年3月6日(木)
<会場> 丸の内オアゾ 1階 ○○ひろば (おおひろば)

<登壇者> 《第一部》

【車いすカーリング】 花岡恵梨香 選手
【カーリング】 元日本代表 市川美余 氏
【パラ馬術】 稲葉将 選手
【馬術】 戸本一真 選手
【パラフェンシング】 加納慎太郎 選手
・スポーツジャーナリスト 二宮清純 氏

《第二部》

・SLOW LABEL 芸術監督/P.UNITED アンバサダー 栗栖良依 氏
・俳優/コメンテーター サヘル・ローズ 氏
・P.UNITED プロジェクトマネージャー 野口尚伸 氏

■ 主 催 : 特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟 (パラスポーツ9競技団体合同プロジェクト P.UNITED 代表団体)



第一部の様子 / カーリング体験会 / 集合写真



第二部の様子 / 集合写真

■ 本イベントの画像や P.UNITED のロゴをご希望の方は、広報事務局までお問合せください。

※クレジットは ©P.UNITED

《本イベント取材に関するお問合せ》

P.UNITED 広報事務局 (株式会社ユース・プランニングセンター内)

担当: 粟林 (アバヤ) Email : punited-event@mediaoffice.co.jp

《 P.UNITED に関するお問合せ 》

info@punited.org <P.UNITED 広報担当 <河野/吉田>

■ P.UNITED について

東京でのパラリンピック開催でパラスポーツ競技団体間の連携が深まったことを契機に、2023年6月に9つのパラスポーツ競技団体が合同で活動を行っていくプロジェクト「P.UNITED」を立ち上げました。

競技力の強化や競技の認知向上、競技人口の確保など、個々の団体としての活動を行ってきた9団体ですが、パラスポーツや障がい者に対する理解を高め、「健常者と障がい者がごく当たり前に共に過ごせる社会作り」というパラスポーツ競技団体共通の目的に対し、パラスポーツ競技団体として更なる基盤強化が必要ではないか、という共通した課題の気づきから合同でのプロジェクトワークに可能性を感じ、ジョイントマーケティングを重点的に行うP.UNITEDとしての活動が始まりました。

競技認知の向上、競技人口の増加、アスリートの練習環境、財政面など、パラスポーツ団体が直面するそれぞれの課題に対して、団体ごとの経験や知恵を共有することで、より大きな課題に取り組み、パラスポーツ全体や社会への貢献を目指し、具体性を持って共生社会を実践していきます。

P.UNITEDを構成する9団体は下記の通りです。

一般社団法人日本車いすカーリング協会、一般社団法人日本パラカヌー連盟、一般社団法人日本障がい者乗馬協会、
特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟、一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟、
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟、一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟、
特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟、一般社団法人日本パラフェンシング協会

< 9団体での活動方針 >

- ① 楽しみを通じて知っていく。社会を変えていく推進力としてのパラスポーツの力を信じる。
- ② 共に試行錯誤する。パラスポーツ同士、さらには企業との連携など新しい取り組みに挑戦。
- ③ D&I、Well-Being、といった、社会や企業の今日的課題にも9団体らしい多様なアプローチを検討。

< スローガン >

「これからって時が、いちばん面白い」

< プロジェクト名とロゴマークに込めた思いについて >

プロジェクト名“P.UNITED” について

社会を変えていくPositiveな存在、時にそれを推進するPowerとなるなど、頭文字の“P”には様々な意味と解釈を込めています。パラスポーツの新しい取り組みとして、未来に前向きな影響を与えたいという私たちの想いを表しました。

ロゴマークについて

私たちパラリンピック9団体も力や知恵、経験をあわせていくことで、ひとつのシンボルとなっていきたい。そんな私たちの想いを、東京2020大会のエンブレムデザイナーである美術家、野老朝雄氏が形にしてくださいました。個と群のコンセプトから生まれたデザインとなっています。

